



～季節の花便り～

晩秋の日差しを浴びて黄金色に輝く花

「イソギク」咲き始めました！



現在、つぼみを付けた状態のイソギク。
 間もなく黄金色に輝く花を咲かせ始める。
 (砂丘エリア「海浜テラス」にて平成 20 年 11 月 3 日撮影)

謹啓 晩秋の候 皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
 さて、ひたち海浜公園では、秋のおだやかな日差しを浴びて、**海浜部特有の植物「イソギク」**の黄金色に輝く花が咲き始めましたのでご案内いたします。

裏の銀白色とのコントラストがとっても美しい植物です。
 本公園は、その沖合いで寒流と暖流がぶつかり合う影響から、自生地が南限や北限である植物が混在するという特有の自然環境を有しています。十月二十七日付で紹介した、**茨城県が南限の海浜性植物「ハマギク」**に続き、**現在、同県が北限である「イソギク」**が海風を

受けながらも力強く咲いています。
 なお、晩秋のひたち海浜公園を彩るイソギクの開花期間は、十二月上旬頃までを見込んでいます。
 つきましては、皆様には御多忙中のことと存じますが、取材並びに記事掲載の程よろしくお願い申し上げます。

謹言

お問い合わせ先

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼605-4
 ひたち公園管理センター企画課 穂積・田中・森下
 電話 (029) 265-9005 FAX (029) 265-9339
 ※お客様問い合わせ電話番号 (029) 265-9001
 ホームページ <http://www.ktr.mlit.go.jp/kaihin>

開花

10月下旬～12月上旬

イソギク

キク科キク属多年草

原産地：日本

【イソギク豆知識】

イソギクは本州の茨城県以南の太平洋側に分布し、海岸の岩石地や崖などに群生する20～40cmの多年草です。

イソギクの名は、“磯に生える菊”ということから付きました。葉の表面が濃い緑色、裏面が銀白色というコントラストが美しく、花びらのない鮮やかな黄色い筒状の花が密にかたまって咲きます。

属名の *chrysos anthemum* は、「金の花」というラテン語に由来します。



【ひたち海浜公園のイソギク】 平成20年11月2日現在の状況

現在、日当たりの良い場所から咲き始めており、12月上旬頃まで園内各所でお楽しみいただくことができます。

■砂丘エリア「グリーン工房」付近

面積：約150㎡ 株数：約2,300株
砂丘エリア内をゆったりと散策しながら、紺碧の海に映えるイソギクをご覧ください。



■砂丘エリア「海浜テラス」付近

面積：約100㎡ 株数：約1,500株
自生地である崖を思わせる岩の合間に咲く風情をお楽しみいただけます。



■「記念の森レストハウス」前

面積：約270㎡ 株数：約4,300株
日当たりの良い斜面に咲いており、現在見頃を迎えています。



■「はまかぜ橋」付近

面積：約13㎡ 株数：約200株
サイクリングで爽やかな風を感じながら、イソギクを鑑賞するのもおすすめです。



～トピックス～ 海浜部特有の植物「ハマギク」

茨城県から青森県の太平洋側に分布し、海岸の崖などに自生する日本原産のキクで、ひたちなか市付近が自生地の南限となっています。イソギクとともに、晩秋の海浜公園を彩る海浜部特有の植物で、地元ひたちなか市の花でもあります。



開花は
11月中旬まで